

私たちは、岡山県北で元気を創造している人を応援しています。

鏡野町長  
山崎 親男

×

インタビュアー【シリウスグループ】  
イコール株式会社 代表 池田 誠



奇跡の湯 奥津温泉ホテル

米屋倶楽部 奥津

TEL:0868-52-0016 <http://www.komeyaclub-okutsu.jp>



伸びをしない

町づくり

町民と一緒にあって、次世代に繋げていきたい

県北のプロフェッショナルに聴く！ー 俺の履歴書

町村合併して2期目になりますが、合併当初を振り返っていかがですか？

合併当初の財政は本当に苦しかった。副町長や助役を置かずに出納室と毎日残業して喧嘩をしながら予算作りをしていました。3月1日に合併して6月の議会までそういう状態でしたよ。6月になって副町長を選任して、若い職員がら何がいらなくて何を足せば良いのか議論しながら町民の代表にも審議会に入ってもらって協議していきました。そして、今までしていたイベントを辞めたりして、素っ裸にされた状態がそのときの鏡野でした。その中で必要な物だけ

を取り入れて、派手な衣装やアクセサリーは付けていないけど今は寒さにも耐える事のできる鏡野になったと思います。

今までしていたイベントを辞めるというのは旧町村からの反発があったのではないですか？

そうですね。リセットするというのは大変でしたね。山のようにあったイベントの中から今は、富のひらめ祭・奥津のみみじ祭り・上斎原の水紋まつり・鏡野の産業まつりを鏡野のイベントとしてまとめています。旧鏡野町と富村には観光協会がなかったので、それはマズいということで新生鏡野町になった時には作りました。

夏の鏡野町大納涼祭も人気ですね。

新生鏡野のイベントとして何がいいのかと考えた時、鏡野町は吉井川の源流なので苦田ダムを見てもらう為にも夏の納涼祭を始めたんです。当初は朝からイベントにしても夏の炎天下なので誰も見に来なくて、何年かは試行錯誤しま



したよ。でもフィナーレの花火だけは絶やさなく続けました。

鏡野町の花火は台風が来てても延期になりませんよね。

そうですねですよ。台風が2つ続けて来たときも、他の自治体は中止したんですが、鏡野は中止しなかったんです。いつも花火の時だけ何故か雨が止むんですよ。休んだのは東日本大震災の年だけです。

鏡野町は福島県鏡石町と防災応援協定を結んでいます。この年を町民みんなで忘れないようにしようということでも中止にしました。

山崎町長は旧鏡野町ご出身ですが、奥津での思い出ありますか？

若い頃は仕事が終わったらいつも奥津の橋の下の温泉に入りに行っていました。家ではほとんど風呂には入らず、いつも奥津温泉に入りに行っていましたね。河鹿園の棟方志功の作品を観て感銘を受けたりもしました。

山崎町長は若い頃から人前で話すのは得意だったんですか？

まさか、まさか。人前で話すなんてもってのほかですよ。赤面症だったんですから。

意外です。どうやって克服されたんですか？

実は若い時、どちらかというと真面目な生徒ではなかったんです（笑）。

18歳の時に親と喧嘩をして、ギター片手にサンドバック型のリュックに荷物をまとめて家出をした

んです。行き先など決まっていま  
せんでしたから、青春18切符を  
利用したり、ヒッチハイクをし  
りと九州から北海道まで旅をし  
ました。公園や浜辺で野宿もしま  
したし、その地方で短期のアルパ  
イトをしたりとありとあらゆる事  
をしましたよ。

それはすごいですね！その経験が  
ら赤面症も克服されたんですね。

自分からいろいろと話しかけ  
ないと生活出来ませんでしたか  
ら（笑）。北海道では根室の牧場で  
アルバイトをして、牛市場へ行く

ついでに何故か道ばたで花咲蟹を  
売ったりとかしていましたよ。そ  
んな事をしていて、気付いたら人  
と話す時に緊張しなくなっていま  
したね。

日本全国を旅されて人生観に変化  
はありましたか？

日本は狭いと思いました。とい  
うのも、東京の上野で会った人と  
偶然北海道で会ったりしたんで  
すが、そういう事が他にも何回かあ  
ったんです。そういう人との繋が  
りを感じ、人の温かさに触れる事  
ができて、人間は捨てた物じゃな



観光はつくるものではなく  
自然の中で生まれてくるもの

鏡野町 町長 山崎 親男  
プロフィール  
昭和28年7月28日生まれ。旧鏡野町出身。事業家  
から町会議員に転進。副議長を経て、2005年に町  
村合併によって誕生した新生鏡野町の初代町長  
に就任し、現代に至る。

いーと思いました。それに、ちょっとけな自分でも勇気を持って一歩踏み出せば何でも出来ると感じるようになりましたね。

[これからの観光を通してのビジョンとかお持ちですか？](#)

観光はつくるものではないと思っています。農業や林業など自然の生活から生まれるものだ。遠方から鏡野に来られた方が素晴らしいと感じてくれたらそれが観光だと思っています。

[奥津地域に向けて何かコメントをお願いします。](#)

奥津地域だけに言える事ではないんですが、鏡野町全体として、やはり、背伸びをしない町づくりが大切ではないでしょうか。観光は生業だと思っています。来られる人に、素晴らしいところだなと思わせる事が大切だと思います。そのために、河川沿いにある遊歩道は整備しましたが、あとはそこで暮らしている人が当たり前ですが「ゴミを捨てないとか、日々のそういう環境作りが大切だと思います。何か特別なものをつくるのではなく、皆さんの日々の生活の中から自然を大切にしていけば、きっと第三者に奥津は良い所だよ、と言ってもらえるんじゃないでしょうか。

[山崎町長あじがとういぐでございました](#)